

向墓山古墳 見学路・展示室

5月7日(木)
オープン!

—世界文化遺産登録に向けて—

「百舌鳥・古市古墳群」の一つである向墓山古墳は、墓山古墳ぼいちようの陪塚の一つで、一辺の長さが60mを越える全国でも屈指の大きさを誇る大型方墳です。

この度、向墓山古墳西側に古墳見学路や学習スペースを設け、より多くの人々に親しんでいただけるように整備しました。

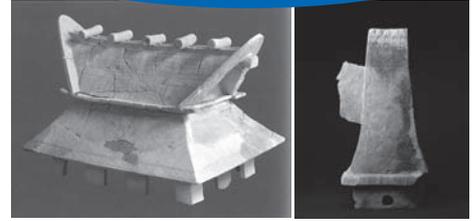
—改修内容—

- ・フェンスの高さを30cm下げ、墳丘部分を見やすく
- ・学習スペースに解説板とベンチを設置
- ・埴輪をはじめ、市内各所から発見された各時代の遺物を展示

時間 10:00～16:00 (土日祝・年末年始を除く)

問合せ 歴史文化推進室 ☎947-3904

※当施設の整備工事は、宝くじ収益金の一部が使われています。



畑田家住宅(登録有形文化財)を一般公開!

一般公開

畑田家住宅は郡戸の旧家で、田の字型平面の主屋や長屋門など、明治時代の屋敷構えの趣きをよく残しています。

時間 10:30～12:00

申込 往復はがきに「一般公開」、住所・氏名・年齢・連絡先・参加人数を明記し、〒583-8585 歴史文化推進室へ

問合せ 歴史文化推進室 ☎958-1111 内線 4481



主催: 畑田家住宅活用保存会
公益社団法人 大阪府建築士会
後援: 羽曳野市
羽曳野市教育委員会
協賛: 大阪大学総合学術博物館

5月24日(日)

文学フォーラム テーマ「文学のフォークロア」

朝井まかて氏 (2014年直木賞受賞作家)

私が通った『丹比小学校』は由緒のある学校で、創立は明治五年(1872)と聞きますから、日本で初めての学校の一つであったのでしょうか。万葉集にも「丹比」という地名が出てくると先生に教えられ、幼な心にも誇らしい気持ちを抱いたことをよく憶えています。

当時の登下校道は田畑の多い、それはのどかな風景に恵まれていました。春はれんげ畑の赤、秋は黄金野の稲穂を眺めながら学校に通いました。二上山の上に昇る朝陽の眩しさと水田から聞こえる蛙の歌、教室の木の床の匂い、木琴の音……それらすべてが今、創作の素地になっています。

ことに私は主に江戸時代を舞台とする時代小説を書いているものですから、四季折々を描く時には無意識のうちに、子供の頃、身近にあった風景を記憶の中に探っているのです。

土地の自然、人々の営みが子供の心身をいかに育むのか。そして詩や和歌、小説の土壌となっていくのかを、皆さんと語り合いながら探してみたいと考えます。土地への感謝を込めて。



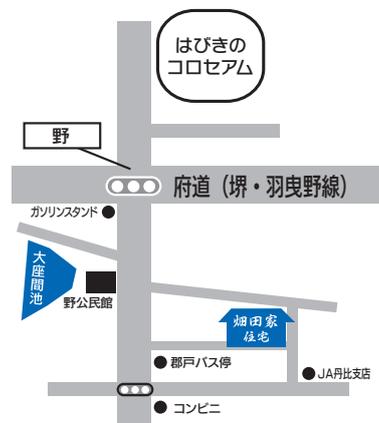
時間 13:30～16:30 **定員** 先着40人

申込 往復はがきに「文学フォーラム」、住所・氏名・年齢・連絡先・参加人数を明記の上、〒583-8585 歴史文化推進室まで

※一般公開も希望の方は同じはがきにお書きください。

費用 無料 **問合せ** 畑田家住宅活用保存会 畑田耕一 ☎072-762-7495

<畑田家住宅へのご案内>
所在地 羽曳野市郡戸470
☎955-4104



- ・近鉄南大阪線 恵我ノ荘駅から南へ徒歩30分
- ・近鉄南大阪線 河内松原駅から近鉄バス 平尾行きに乗り、郡戸バス停下車徒歩3分
- ・近鉄南大阪線 河内松原駅 あるいは藤井寺駅からタクシー15分